

リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立笹塚中学校

【取組内容①】LDXの取組を通じた教員の変容 その1

生徒が協働し、考えを深める学びを展開する授業を実現するまで

他区から異動

できることから
チャレンジ

生徒たちの学びの質と
意欲の向上を見て
成果を実感

4月

校内研修、指導課訪問

12月

東原先生(※1)の助言

1月



どんなツールを使えばいい？
生徒が主語となるデジタル活用？



とりあえず、ExcelシートをTeams上で活用させよう



Excelシート上で生徒が進んでやり取りし、考えを深めるようになった！



01 国語 投稿 ファイル Notes 01国語_授業の振り返り

01国語_授業の振り返り Excelの検索

1	氏名	進言文1	進言文2	授業の振り返り
			が見えることで、いつも私たちが見ている夕暮れに特別感を持たせている。おびしさを残し、印象に残る。	
4		何も無い空れた原田君を少しの風景を説明するだけで描写しているところ。表現力がすごい。	何も無いということを通じて、ただ一つある夕暮れを引く立でも。「何も無い」は引く立で決めるものなんじゃないかなと思う。	一つの和かに対してここまで深く考えることは今まであまりなかったと思う。
5		何も無いからさらに秋の夕暮れをきれいと感じることが出来る。	秋は日の入り時間が早くも遅くも気温も暑すぎず寒すぎずだから秋の夕暮れを使ったと思う。さらに秋といえば紅葉を夕日と対比させるようにして使ったのだと思う。	同じうたを聴んでも自分と違った捉え方をする人がいるのが面白いと思った。

※1：渋谷区ICT教育アドバイザーである、信州大学名誉教授 東原 義訓先生